

Action! Playful!

テクノロジーと人間力で
ウェルビーイングな社会を実現する



OEC Business Report

2024.4 ▶ 2025.3



《 お問い合わせ 》

 **株式会社オーイーシー**

〒870-0037

大分県大分市東春日町17番57号ソフトパーク内

TEL 097-537-1212(大代表) / FAX 097-537-2694



未来の杜 Play Field



 **株式会社オーイーシー**

1 トップメッセージと経営の方針

02 Top Message

心を一つにしてウェルビーイングな
社会の実現を目指す

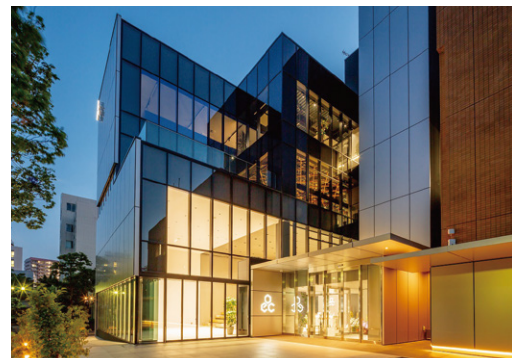
03 中期経営計画とCI刷新

『パーパス』を起点とするCI～自社らしさ～
定着に向けた「5つの浸透ステップ」

04 確かな土台から、価値創造の未来へ

05 新社屋「未来の杜 Play Field」始動！

「働く」と「集う」のアップデート



2 人材と組織の進化

～人的資本経営による未来づくり～

07 一人ひとりが進化し、組織が進化する

自律と挑戦を支えるオーイーシーの人材戦略

人的資本経営の実践



3 技術と社会貢献

09 大分から全国へ広がるオーイーシーのサービス

ICTソリューションで支える、大分県の行政・医療・教育現場のDX推進

10 大分から全国へ——自治体DXを支えるサービス展開

11 地域 DX・先進技術・新サービス

2024年度 地域課題の解決に資する活動実績

12 先進技術・新サービスについて 2024年度の振り返り(実績)

4 創業60年、新たな価値と文化の形成

13 年表で振り返る成長の道程と、未来を拓く新たな舞台

60年の軌跡とさらなる進化の出発点



OEC Business Report
2024.4 ▶ 2025.3
CONTENTS

5 サステナビリティ経営

15 パーバードリブンを実現するサステナビリティ経営

財務指標と非財務関連活動の連動性

17 OUTSIDE DIRECTOR MESSAGE

フューチャーデザインを志向したオーイーシーの成長に期待する

地域発展の新たな推進力「おおいたプラット株式会社」設立

地場企業 5 社連携で地域課題解決と新サービス創出へ



18 企業概要

1

トップメッセージと経営の方針

Top Message

心を一つにしてウェルビーイングな 社会の実現を目指す

2024年4月に「未来の杜Play Field」がグランドオープン。当社にとって新たな躍進のためのフィールドであり、その魅力的な空間から社内外の英知を結集して新たな価値創造に取り組んでいます。さらに「Action! Playful! テクノロジーと人間力でウェルビーイングな社会を実現する」というパーパスを掲げ、来年創立60周年を迎えるオーイーシーはここから大きく成長し、新しい歴史を創っていきます。

そして100年企業になるためにそれにふさわしい企業を目指し、心を一つに大切なことを忘れず取り組んでまいります。紛争が絶えない世界、著しい地球環境の悪化影響、人口減少・少子高齢化、コロナ等のパンデミック等々解決しなければならない課題が山積です。だからこそ我々はウェルビーイングな社会の実現をパーパスに掲げました。社員や家族、子どもたちにとって素晴らしい幸福な社会の実現に向けて熱く想い語りあいながら日々の仕事の意味を問い、自ら考え、行動し、仕事を楽しんでいきます。そうすればそれは大きな力になってこの時代を変え、良い社会の実現につながっていくと確信します。オーイーシーは時代の変革をリードするために時代の先頭に立ち、勇気をもってイノベーションにチャレンジしてまいります。



株式会社オーイーシー
代表取締役社長 加藤 健

「美意識」を鍛えてDX時代を生きる

OEC OFFICE ART Project

アートが育む創造性とオーイーシーの未来

「経営とアートは密接に関連し、美意識を鍛えることがビジネス成功に不可欠」との信念のもと、2021年より「OEC OFFICE ART Project」を推進しています。本プロジェクトは、アートの力で組織に活力をもたらし、新たな価値創造を目指す取り組みです。

狙いは、オフィスにアートを取り入れて従業員の創造性や生産性を高め、癒しやリフレッシュ効果を生むこと。訪問者への印象づけや、アートを通じたコミュニケーション

の活性化も意図しています。主な取り組みとして、絵画の購入と社内外での展示・ローテーション、新社屋ではウォールアートや有田焼、プリズム作品など多様なアートを導入。日常業務に刺激を与え、発想力や感性の向上を後押ししています。

今後は、地元若手アーティストへの展示機会の提供や、ワークショップ・体験イベントを通じて、アートによる社内外のつながりや文化創生をさらに広げていく方針です。



葉山 有樹《ナイルの賜物》2023年／本社1Fエントランス



葉山 有樹《万花彩》2023年／本社2Fオープンスペース

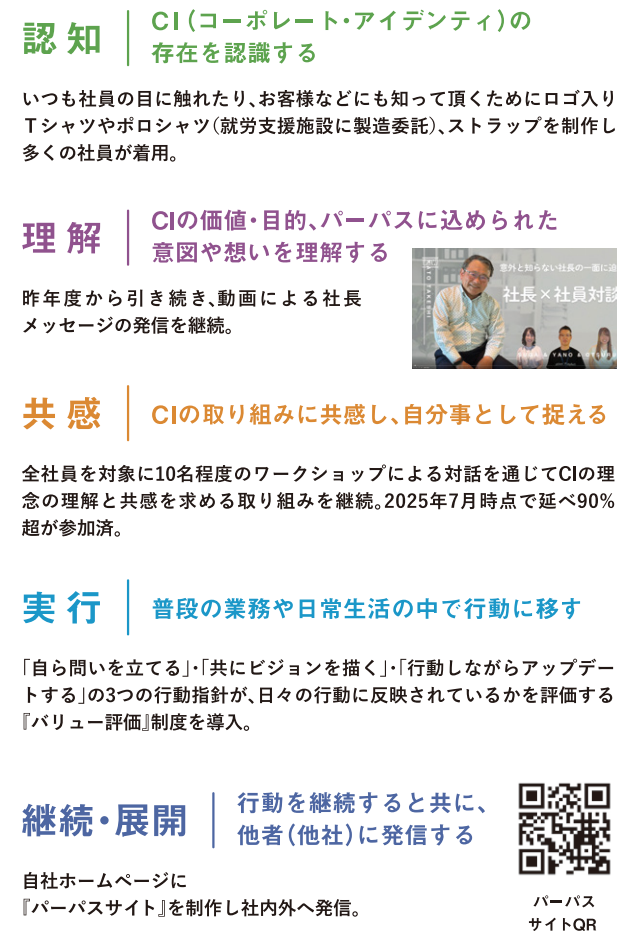
simon 《Playful Flow》2023年／本社2Fオープンスペース



『パーパス』を起点とするCI～自社らしさ～ 定着に向けた「5つの浸透ステップ」

2024年度より新たにパーパスおよびブランドビジュアルを取り入れ、コーポレート・アイデンティティ(CI)の刷新を行いました。
統一感があるコンセプトから自社の特性や理念を社内外が親しみやすいビジュアルや
メッセージなどの形にした新CIの定着に向けて、「5つの浸透ステップ」による発信活動を進め、
①人と組織をつなぐ②組織と組織をつなぐ③組織と社会をつなぐ「パーパスドリブン経営」を推進しています。

新CI定着に向けた 「5つの浸透ステップ」のサイクル



エンゲージメントとインナーブランディング

カフェイベントの実施

実施日：2025. 7/11

社員交流とエンゲージメントを目的としたカフェイベントを開催。社員による本格自家焙煎コーヒーに加え、今回は人気クロッフル店も出店し盛況でした。部署を超えた交流が生まれ、会社への愛着を深める機会となりました。



所蔵絵画による 企画展開催

実施日：2025. 6/3～6/30

「日本画三大巨匠の競演 ― 挑戦者たち」と題した企画展を応接室で開催し、昼休みに社員が自由に鑑賞できるようにしました。福田平八郎、高山辰雄、岩澤重夫といった大分ゆかりの日本画家たちの作品を通じて、社員が芸術文化に触れ、感性や共通体験を育むインナーブランディング施策として実施しました。



確かな土台から、 価値創造の未来へ PROGRESS REPORT 2024

2024年度は、中期経営計画(2024-2026)の初年度として、4つの重点施策を着実に実行し、未来への成長に向けた強固な土台を築きました。刷新したコーポレート・アイデンティティ(CI)のもと、オーイーシーは次なるステージへ。
社会とお客様への提供価値をさらに高めてまいります。



《 4つの重点施策と2024年度の主な成果 》

01 人的資本経営の実践

▶関連情報:P7,P8

Human Resource Management

- ① テクノロジーと人間力の向上
- ② Playfulな働き方への変革
- ③ 社員エンゲージメントの向上
- ④ DEIの推進
(ダイバーシティエクイティインクルージョン)

主な成果

- 高度技術資格取得への挑戦
- 社内公募制度、FA制度を通じたキャリアのセルフプロデュース
- 社員によるリレーエッセイ連載開始、収蔵日本画による社内鑑賞会
- 女性社員の管理職比率の向上。2022年度比で8名、7%の増加

02 ソリューション提供企業から価値提供企業へ

Value Selling

- ① 自治体との共通価値の創造
- ② ウェルビーイングな社会を実現する
プロダクト開発
- ③ 地域や顧客に対するサービスの充実
- ④ 戦略的な投資活動および共創活動の実践

主な成果

- 大分県および大分県内16市町村のガバメントクラウド接続を実現
- 地域課題の解決につながる『まどメイト』や『Maph!n』をリリース
▶関連情報:P11
- 自治体システムの標準化をソフト、インフラ、運用などトータルで支援
▶関連情報:P9
- 地域発展に寄与する「おおいたプラット株式会社」を地場企業4社と設立
▶関連情報:P17

03 生産性の向上と企業価値の向上

Operational Excellence

- ① 「選択と集中」の実践
- ② 社内DX/AI活用による生産性の向上
- ③ SDGsの実践
- ④ ブランディングの強化(情報発信・共有)

主な成果

- 自社パッケージの現状分析と再評価により今後注力すべき製品の選択を実施
- RAG(回答精度の高いAI)の技術検証と就業規則など社内ナレッジへの実装
- 臼杵市とウフル社と官民連携で地域課題に挑むワークショップを開催
- 公式Xを開始。社内の様々な情報をタイムリーに発信

04 内部統制・マネジメントによる経営基盤の強化

Management Innovation

- ① 内部統制、コーポレートガバナンスの再徹底
- ② ISOマネジメントシステムの
PDCAによる改善
- ③ 効果的なPMO体制と運用の見直し

主な成果

- 社内プロジェクト管理システムを刷新
- ISO27001:2022版への移行。堅実なマネジメント運用
- カスタマーハラスメントに対する行動指針公表
- サイバー攻撃の脅威に備えるセキュリティ対策を実施

Action! Playful!

テクノロジーと人間力で
ウェルビーイングな社会を実現する

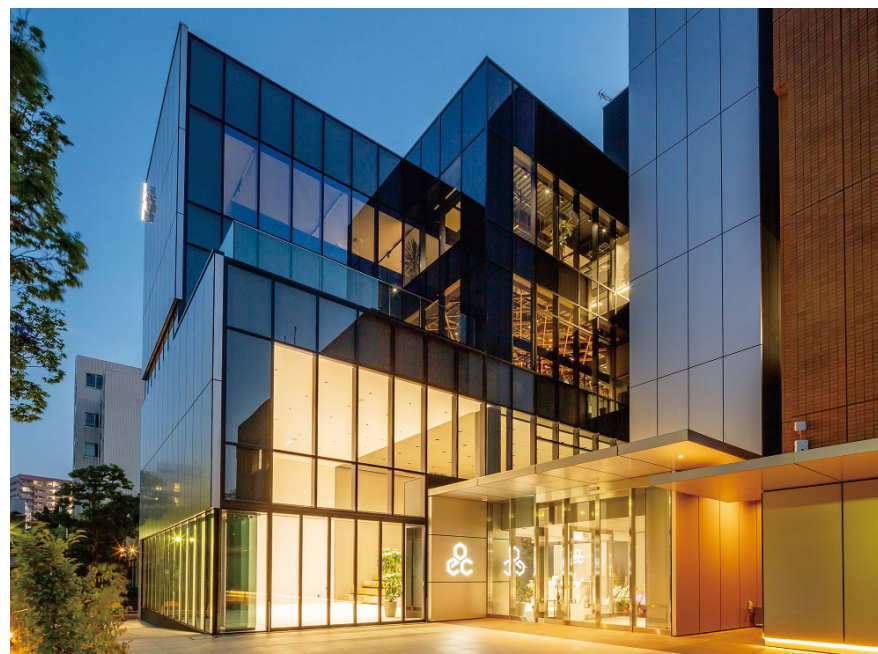
始動

「働く」と「集う」の アップデート

2024年4月 新社屋開業

2024年4月、オーイーシーの新たな拠点「未来の杜 Play Field」が始動しました。自然と共生し、地域とともに成長する次世代のオフィス。社員一人ひとりのクリエイティビティが花開く舞台が誕生しています。

南北2棟、合わせて敷地面積3,500㎡超の新しいフィールド。透明感あふれるガラス張りの社屋は、オーイーシーのテクノロジーを世界に発信するショーケースです。ここを拠点に本気で物事に取り組んでいる時のワクワク・ドキドキする心を大切にしながら、テクノロジーと人間力で、ウェルビーイングな社会の実現に向かっていきます。



Topics!

『第37回日経ニューオフィス賞』受賞

このたび、株式会社オーイーシーの新社屋「未来の杜 Play Field」が、第37回日経ニューオフィス賞を受賞しました。開放的で自然と調和した設計や、多様なコミュニケーション空間、地域とつながるオープンな拠点づくりが高く評価されました。

[活用事例の紹介]

“未来の杜 Play Field”からはじまる共創のステージ

多様な人々が立場を越えて交わり、遊び心からイノベーションを生み出す「共創」の拠点として誕生した、新社屋「未来の杜 Play Field」。ここは、社員のウェルビーイングを高める場であると同時に、地域やパートナーの皆様へひらかれた「庭」でもあります。オーイーシーは、このひらかれたフィールドを起点に、ステークホルダーの皆様との「共創」をさらに加速させ、事業を通じてより豊かな社会の実現に貢献してまいります。

社内活動 社員の成長と交流がうまれる場として



入社式 セレブレーションウォーク

「未来の杜 Play Field」で新たな仲間を迎えました。ともに歩む第一歩です。



健康測定イベント

社員の健康維持を目的に、血管年齢や骨密度の測定を行いました。日々の生活習慣を見直すきっかけに。



大分市消防局地震体験

“体験型”の取り組みを通じて、防災への意識も深めています。



カフェテリアで新年会

新しく設けられたカフェテリアでは、日々の憩いの時間に加え、新年会などのイベントも開催しています。

外部団体との共創 共催イベント・オープンイノベーションによる共創の実践



自治体 ソリューションフェア

県内自治体の課題解決に資する各種ソリューションを集め、見て・聞いて・触れてみる機会となりました。



Backlog ユーザコミュニティ 「JBUGおいた」

プロジェクト管理や仕事の上手な進め方の知識やノウハウを学び合う場として解放しています。



大分県立大分西高等学校 フィールドワーク

高校生によるフィールドワークを受け入れました。現場での体験を通して、様々な意見交換を行いました。



大分県立情報科学高等学校 『IT 業界研究』

高校2年生約80名とIT業界について語り合う交流会を行いました。生徒たちの積極的な質問や意欲的な姿勢が印象的な、有意義な時間となりました。



大分県消費生活・男女共同参画プラザ 『パープルリボンプロジェクト』

パープルリボン運動期間中、エントランスで生成AI画像のライトアップを行い、暴力のない社会を呼びかけました。

施設貸出 開かれた場として外部団体への貸出

当社は、「社会貢献」の一環として地域のイベントや活動を支援しています。地域の文化やコミュニティ活動を後押しすることで、社会とのつながりを大切にしています。



赤十字血液センター『献血』



OISA『サウンズコンテスト』

人的資本経営の実践

予測困難な時代を勝ち抜くため、オーイーシーは社員一人ひとりを会社の根幹を成す『資本』と捉え、その可能性を最大化します。社員の自主性と挑戦を尊重し、変化を恐れず共に学び成長する『学習する組織』へと進化を続けます。

01 テクノロジーと人間力の向上

- 1 プロフェッショナル人材の育成（高度スキル技術者、クラウド技術、業務スペシャリスト等）
- 2 人間力の向上と自律型人材の育成
- 3 内部統制を支える法務・財務等コーポレート部門の高度人材育成
- 4 リスキングおよびラーニングカルチャーの醸成
- 5 AIの多様な活用によるゆとりの醸成、新たな価値の創出



02 Playfulな働き方への改革

- 1 人材の流動化（ローテーション、適材配置、社内人材交流等）
- 2 多様な働き方の実現（環境、場所、組織、仕組み）
- 3 心理的安全性の確保（失敗を恐れず、積極的にチャレンジできる環境づくり）
- 4 役割の明確化とセルフプロデュースによる働きがいの向上

04 DEIの推進 (ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン)

- 1 性別・年齢・国籍を問わない多様な人材の活躍
- 2 障がい者雇用の推進と働く場所の確保
- 3 女性活躍の推進
- 4 ジョブ型社員およびアクティブシニア社員の活躍



03 社員エンゲージメント向上

- 1 人事評価制度の見直し（公平、公正かつ社員の成長につながる人事評価制度へ）
- 2 人事・給与制度、福利厚生の見直し（各種手当、休暇など）
- 3 社内コミュニケーションの向上
- 4 健康経営の取り組み強化

健康経営の取り組みでヨガ教室を実施



自律・自走できる社員 × 「学習する」組織

《2024年度の主な取り組みと成果》

変化を加速させる 組織体制の強化

①品質技術局の新設

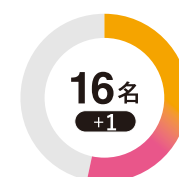
大型化・高度化する開発プロジェクトに伴走し、技術面と業務面の両方でプロジェクトを支援します。また、プロジェクトマネジメント人材の育成とあわせて、ドキュメントや各種ルールの標準化にも取り組みます。

②R&D部門の新設

先進技術の検証や実装を通じて蓄積した知見を社内へフィードバックすることで、全社的なスキルアップを図ります。また、営業部門とも連携し、マーケットのニーズに応じた製品開発やビジネスモデルの検討にも参画します。

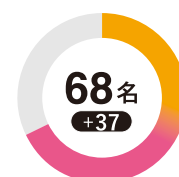
高度IT人材育成実績 / 人材育成目標達成レポート

2025年3月31日時点の目標達成人数と、中期経営計画スタート時(2024年3月)からの増加数



高度PM人材
目標値:30名以上

目標達成率
53.3%
プロジェクトマネージャ試験合格者数



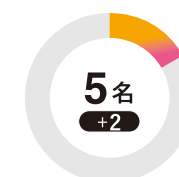
クラウド人材
目標値:100名以上

目標達成率
68%
AWS/Azure Certified合格者数



DX人材
目標値:200名以上

目標達成率
70.5%
以下の試験の合格者数
E資格、G検定、DX検定、統計検定、DS検定、AI検定、AI実装検定、AIEvangelist、デザイン思考、AWS/Azure Certified



高度クラウド人材
目標値:30名以上

目標達成率
16.7%
以下の試験の合格者数
AWS Certified Machine Learning - Specialty, AWS Certified Solutions Architect - Professional



VOICE

DXビジネスソリューション部
DXソリューショングループ
後藤 大樹

資格取得の薦めも受け、実務でのAWS構築経験とシナジーを意識した挑戦が、全冠達成につながりました。

2024年度、AWS Certified Solutions Architect - Professionalをはじめ、AWS認定13冠を達成。



施設予約サービス部
施設予約パッケージ管理グループ
浦脇 圭司

クラウド未経験からのスタートでしたが、資格学習で得た知識が技術選定や実装に大きく役立ちました。

2024年度、Microsoft Certified: Azure Solutions Architect ExpertをはじめとするAzure関連資格4種を取得。

評価される取り組み、広がる信頼

健康経営優良法人 2025認定

社員の心身の健康を支える取り組みが評価され、2025年3月10日に日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に6年連続で認定されました。



外部コンテスト 受賞

2025年2月13日、愛徳会(日本IBMのビジネスパートナー)主催の「watsonx Tech Challenge 2024」にて、当社発表の「人類避難計画(2次避難支援システム)」が最優秀賞を受賞しました。また、日立ITユーザー会主催「第62回大会論文 日立IT論文賞」では、当社から応募した5名全員が特賞・優秀賞・優良賞を受賞しました。



一般社団法人情報サービス産業協会： JISAとの連携

JISAは日本の主要な情報サービス企業567社で構成する業界団体であり、情報サービス産業の振興に関する調査研究や行政施策に関する建議などを行っています。当社・加藤社長は理事及びデジタル社会推進部長を兼務しています。

JISA版NTCプロジェクト

2025年度もデジタル変革をリードし、価値を創造できるトップレベルのITエンジニア(Top ITアスリート)を育成する「JISA版NTCプロジェクト」に3年連続で参画します。これまでの成果を活かし、社内外の知見を融合しながら、業界をけん引する高度IT人材の育成をさらに推進していきます。

生成AIアクションプランWG

JISAの政策提言委員会の中で生成AI技術の社会的活用にかかる提言とその先のアクションプランを取りまとめる活動に参加しました。会員企業から代表約15社が集まり、半年かけて生成AIの社会活用を検討し、提言を行いました。

3 | 技術と社会貢献

大分から全国へ広がるオーイーシーのサービス

ICTソリューションで支える、大分県の行政・医療・教育現場のDX推進

オーイーシーは、大分県内の自治体、医療機関、教育機関に向けて、業務効率化とサービス向上を実現するICTソリューションを提供しています。各現場に寄り添った支援と、DX推進に不可欠なインフラ整備を通じて、住民の暮らしの質を高め、地域社会の持続的な発展に貢献しています。



オーイーシーが提供する大分県の地域基盤を支えるICTソリューション＆業務支援

ソリューション

公共向け

- 施設予約
- 勤怠管理
- 財務会計、人事給与
- 文書管理、庶務事務
- Endopint Guardian（セキュリティ）
- 書かない窓口
- 盛土情報管理
- 電子申請
- 自治体専用チャットツール
- 図書管理
- 宇宙VR



医療向け

- オンライン診療
- 電子カルテ
- 勤怠管理
- ナースコール支援



文教向け

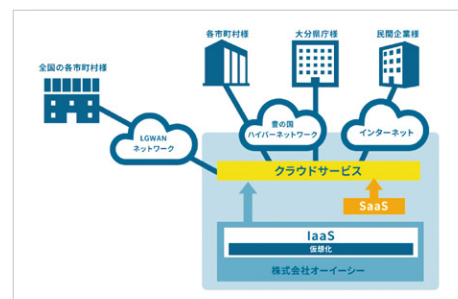
- 校務支援
- 出退勤管理
- 成績管理

eG-School



業務支援・DX推進

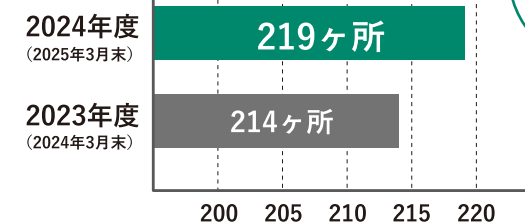
- 大分県共同利用型ガバメントクラウド接続ネットワーク
- 豊の国 IaaS サービス
- 自治体向け IT サービス（基幹系システム導入＆運用保守）
- データエントリー
- ヘルプデスク
- 技術者派遣、ICT 支援員
- 機器保守サービス
- PC キットングサービス
- プリンティング＆デリバリー



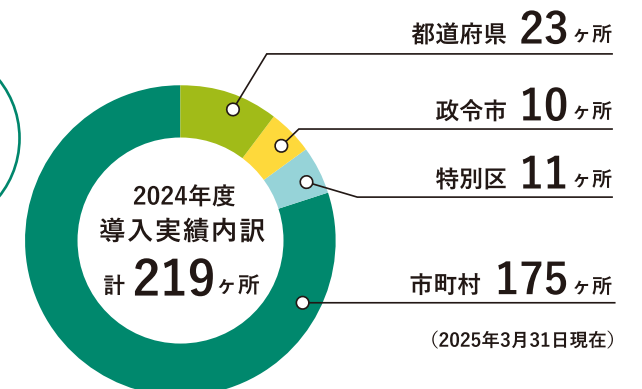
大分から全国へ——自治体DXを支えるサービス展開

2024年度は前年に比べ導入自治体数が2.3%増加。着実にサービスの拡大を続けています。

全国自治体への導入実績



前年比
+5件
(2.3%増)



九州・沖縄エリア

《大分県》
大分県および県内全市町村

《福岡県》
福岡県、福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市、宗像市、古賀市、福津市、大牟田市、久留米市、筑後市、みやま市、直方市、水巻町、岡垣町、遠賀町、宇美町、志免町、粕屋町、新宮町、大刀洗町、鞍手町、筑前町

《佐賀県》
佐賀県、佐賀市、伊万里市、江北町

《長崎県》
長崎県、長崎市、佐世保市、雲仙市、対馬市、佐々町、長与町

《熊本県》
熊本市、合志市、菊池市、上天草市

《鹿児島県》
鹿児島県、鹿児島市、薩摩川内市

《宮崎県》
宮崎県、宮崎市、都城市、日南市、三股町

《沖縄県》
南城市、恩納村

近畿エリア

《福井県》
福井県

《滋賀県》
滋賀県、大津市、東近江市

《京都府》
京都府、木津川市、綾部市、京田辺市

《兵庫県》
神戸市、尼崎市、西脇市、加東市、明石市、南あわじ市

《大阪府》
堺市、枚方市、豊中市、守口市、泉大津市、寝屋川市、四條畷市、門真市、貝塚市

《三重県》
三重県、四日市市、桑名市

《奈良県》
黒滝村、天理市

《和歌山県》
和歌山県

中部エリア

《長野県》
長野市、諏訪市、岡谷市、茅野市、安曇野市、松本市、塩尻市、下諏訪町

《石川県》
石川県

《富山県》
富山県、射水市

《新潟県》
新潟市、新発田市、柏崎市、五泉市、村上市

《山梨県》
山梨県

《岐阜県》
多治見市、下呂市、美濃加茂市、岐南町

《静岡県》
静岡県、静岡市、長泉町

《愛知県》
碧南市、一宮市、東海市、瀬戸市、豊田市、小牧市、幸田町

中国・四国エリア

《岡山県》
岡山県、岡山市、井原市

《広島県》
広島県、三原市

《山口県》
山口県、山口市

《愛媛県》
伊予市

《香川県》
香川県、高松市、東かがわ市、宇多津町、綾川町

《徳島県》
徳島県

関東エリア

《群馬県》
群馬県

《埼玉県》
さいたま市、朝霞市、和光市、東松山市、本庄市、戸田市、志木市、所沢市、春日部市、上尾市、久喜市、蕨市、秩父市、越谷市、草加市

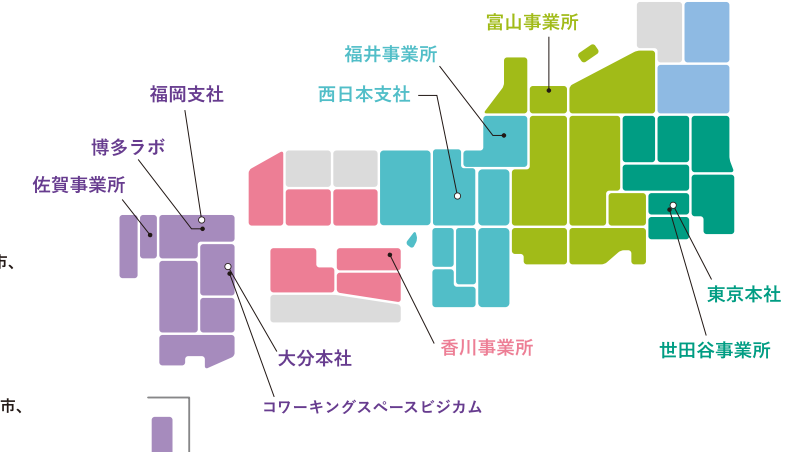
《栃木県》
栃木県、那須塩原市

《茨城県》
取手市、石岡市、古河市

《千葉県》
千葉市、旭市、市川市、市原市、船橋市、柏市、成田市、八千代市、君津市

《東京都》
中央区、豊島区、台東区、墨田区、中野区、文京区、杉並区、世田谷区、目黒区、品川区、江戸川区、町田市、三鷹市、小平市、稲城市、福生市、国分寺市、国立市、府中市、武蔵村山市、日の出町

《神奈川県》
神奈川県、横浜市、鎌倉市、横須賀市、藤沢市、大和市、三浦市、秦野市、座間市、伊勢原市、海老名市、綾瀬市、寒川町、大磯町、中井町、松田町、葉山町



2024年度 地域課題の解決に資する活動実績

当社は、長年培ってきたICT技術と業務ノウハウを活かし、地域社会が直面する多様な課題の解決に積極的に取り組んでいます。2024年度は特に、行政サービスのDX、都市問題の効率的な管理、サイバーセキュリティといった分野で大きな成果を上げました。代表的な3つの活動実績をご紹介します。

CASE 1 “書かない・待たない・迷わない”窓口へ

『まどメイト』が国の「窓口DX SaaS」に認定

課題 住民の「何度も書く」負担や、職員の「複雑な手続き」に対応する業務負担が増大しています。

解決策 『まどメイト』の利用により一度の本人確認により基幹システムと連携し、申請者に必要な手続きが自動的にピックアップされるため漏れが無く、異動などにより経験の浅い職員でも対応が可能になります。

【実績】 本サービスは大分県内で高い評価をいただいており、デジタル庁による窓口DX SaaS提供事業者の認定後は、全国からのお問い合わせや成約も増加しています。



CASE 2 地図情報で行政業務を革新

『Maph!n』が都市の課題をスマートに解決

課題 住民からの通報（放置自転車や道路の陥没など）を電話で受け、その都度職員がシステムに入力しているため情報共有に手間がかかっており、庁外からの確認もできないことから対応の遅れが発生しています。

解決策 Web上の地図情報システム「Maph!n」に情報を集約することで、ブラウザを通じていつでも・どこでも・誰でも欲しい情報にアクセスしたり、更新したりできるようになります。これにより、業務の生産性向上や住民の満足度向上が期待できます。

【実績】 東京都23区での受注をきっかけにお問い合わせが増えており、当初の目的だった受動喫煙や放置自転車対策に加えて、観光や防災、インフラ分野でも活用が広がっています。



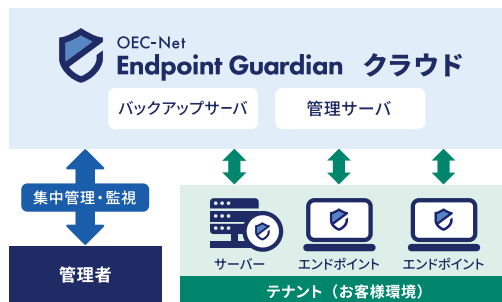
CASE 3 ランサムウェアなどサイバー攻撃から大切なデータを守る！

情報資産を守るセキュリティパートナー「Endpoint Guardian」

課題 セキュリティ対策やバックアップシステムを個別に導入した後も、担当者の維持・管理負担が大きく、人手不足の企業や自治体も多い状況です。

解決策 強力なセキュリティ機能とバックアップ機能を一つのエージェントで提供し、クラウドサービスによる使いやすい管理機能により運用の手間とコストを大幅に削減します。

【実績】 サービス開始直後から、課題意識の高い民間企業様よりご成約をいただいております。また、現在では、多数のクライアントを抱える自治体様からのお問い合わせも増加しています。



先進技術・新サービスについて 2024年度の振り返り（実績）

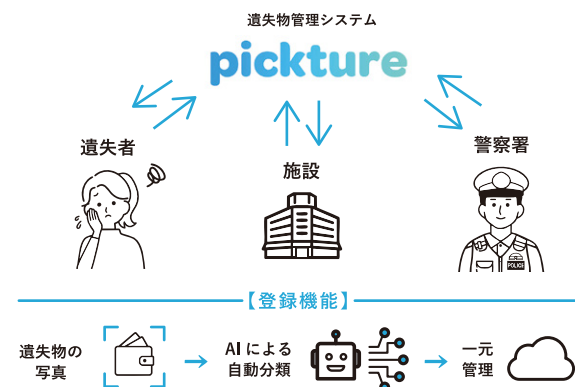
2024年度、当社は生成AIをはじめとする先進技術を積極的に事業へ取り込み、既存製品の価値向上、情報検索の高度化、そして未来を担う人材育成へと繋げることで、持続的な成長と社会貢献を推進しました。その主要な実績を3つの観点からご報告します。

1 生成AIを用いた人気製品のバージョンアップ

遺失物管理システム「pickture」における生成AI活用

当社の遺失物管理システム「pickture」は、落とし物をスマホで撮影登録する際に画像認識AIを活用し、種類判別による問合せ対応の効率化を実現するソリューションです。2024年度、生成AI技術を新たに実装し、以下の成果を達成しました。

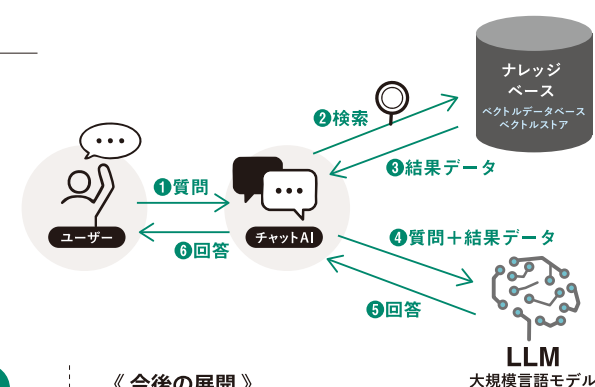
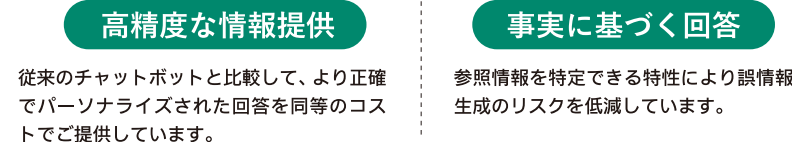
【成果】



2 RAGチャットを用いた検索機能による業務効率向上

RAG技術による情報検索・提供の高度化

RAGは、テキスト生成に信頼性の高い独自の外部情報を組み合わせる技術です。当社では社内規定や通達に関する問合せ対応の効率化に向け、RAG技術の実証実験を実施しました。



《今後の展開》

今後は、社内ナレッジ管理をはじめ、マーケティングやカスタマーサポート業務への活用と製品化を積極的に推進していく予定です。

3 地元大学での技術講義

別府大学・別府大学短期大学部での「数理・データサイエンス・AI授業」の実施

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」の「応用基礎レベル」教育プログラムに基づく講義を実施しました。当社社員が講師を務め、以下の3分野の教育を担当しています。

- ◆データエンジニアリング基礎：オンデマンド型講義（全8回）による基礎技術の解説
- ◆AI基礎：AIの基本概念から活用事例までの体系的な学習機会の提供
- ◆AI/データサイエンス実践：実務に即した実践的スキルの習得支援

授業で制作した生成AI画像

講

義では最新のAI技術を活用した教材作成や小テスト、課題を通じた知識定着の工夫など、実務経験に基づく実践的な内容を提供。学生からのフィードバックを取り入れながら、継続的に講義内容を改善しています。地域の人材育成に貢献するとともに、産学連携の強化を図っています。



60

60年の軌跡とさらなる進化の出発点

1966年の創業から、オーイーシーは「技術と信用と真心」を社是として歩んでまいりました。これからもテクノロジーと人間力を融合させ、多様化する社会課題の解決に取り組みます。60周年という節目を、さらなる進化の出発点に。ステークホルダーの皆様と未来を共創し、持続可能でウェルビーイングな社会づくりに貢献してまいります。

1966-2025

● 1966.4/23(昭和41年)
旧 大分電子計算センター
(Oita Electronic Computer
-center)設立

1966 ～

大型汎用機と
共同利用の黎明期

高度経済成長とともに大型汎用コンピュータが登場しました。大分県でも地場企業が共同でIT導入を進め、計算業務の機械化を目指したことがオーイーシーの始まりです。

売上 4億円
(営業利益0.3億円)

社員数 92名



● 1982.10/1(昭和57年)
東京支社開設



1976 ～

受託計算業務の全盛と
PCの胎動

給与計算などの受託業務が花形となる一方、個人向けPCや表計算ソフトが誕生し、業務の効率化が始まりました。

売上 19億円
(営業利益2.1億円)

社員数 301名



● 1990.8/3(平成2年)
府内戦紙に初参加

● 1990.4/1(平成2年)
株式会社オーイーシーへ
社名変更

● 1989.5/1(平成元年)
福岡支社開設

● 1987.4/13(昭和62年)
大分市のソフトパークに
自社ビル竣工、本社移転

1986 ～

オフコン・PCの台頭と
分散処理への転換期

オフコンやPCの導入が進み、集中処理から分散型アーキテクチャへの移行が始まりました。クラサバや「ネオダマ構想」も登場し、情報システムは転換期を迎えました。

売上 42億円
(営業利益2.7億円)

社員数 352名



● 2005.10/1(平成17年)
関西支社(現:西日本支社)開設

● 2004.2/16(平成16年)
株式会社大分県自治体共同
アウトソーシングセンター
(通称:OLGO(オルゴ))設立

● 2003.5/16(平成13年)
ISMS(情報セキュリティマネジ
メントシステム)適合性評価制度
認証取得(登録番号JQA-IM0086)

● 2001.11/8(平成13年)
プライバシーマーク取得
(登録番号 11820126)

1996 ～

Windows時代と
ネットワークの急拡大

Windowsとインターネットの本格普及により、社内外のネットワークの活用が急拡大しました。情報共有の基盤も整い始めました。

売上 67億円
(営業利益2.6億円)

社員数 367名



● 2015.7/1(平成27年)
株式会社大分県自治体共同アウト
ソーシングセンターを
株式会社オルゴへ社名変更

● 2014.8/21(平成26年)
富山事業所開設

● 2012.4/21(平成24年)
オーイーシーの森林(もり) 植樹開始



● 2010.8/1(平成22年)
佐賀事業所開設

● 2009.1/1(平成21年)
香川事業所開設

● 2006.3/17(平成18年)
ISO14001(環境)認証取得
(登録番号 JQA-EM5247)

2006 ～

スマホとSNSの時代、
クラウドが業務を変える

スマートフォンの普及とSNSの台頭により、情報流通が爆発的に拡大しました。クラウドコンピューティングの登場が、業務インフラに変革をもたらしました。

売上 71億円
(営業利益3.1億円)

社員数 377名



● 2023.11/22(令和5年)
大分本社増築

● 2023.6/1(令和5年)
福井事業所開設

● 2022.5/16(令和4年)
東京本社移転。
浅草橋ラボを東京本社に統合

● 2021.4/1(令和3年)
株式会社オルゴを吸収合併

● 2019.4/1(平成31年)
コーポレート
ロゴを変更



● 2018.12/28(平成30年)
ISO27017認証取得
(登録番号 JQA-IC0023)

● 2018.10/1(平成30年)
東京支社を東京本社に改称し、
大分本社と東京本社の二本社制



● 2018.4/1(平成30年)
世田谷事業所開設

2016 ～

AI・IoTの進化と
安全への挑戦

AIやIoTが現実の業務に応用され始め、5G通信がその可能性を後押ししました。並行して、サイバーセキュリティの重要性も増してきました。

売上 104億円
(営業利益6.3億円)

社員数 521名



● 2025.5/15(令和7年)
博多ラボ開設

● 2025.4/23(令和7年)
創業60年目(2026.4/23 創業60周年)

● 2024.11/3(令和6年)
会長:森秀文が黄綬褒章を受章



● 2024.4/1(令和6年)
大分本社増築および改築完了に伴い、
「未来の杜 Play Field」
グランドオープン
CI刷新

新中期経営計画2024-2026



～ 2025

量子技術と
自律型社会への普及

量子コンピューティングやメタバー
ス、自律型システムが社会実装段階に
入り、ビジネスと生活の在り方そのも
のが大きく変わろうとしています。

売上 136億円
(営業利益7.5億円)

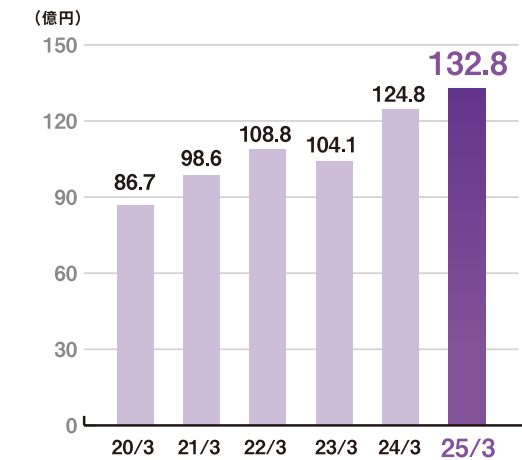
社員数 580名



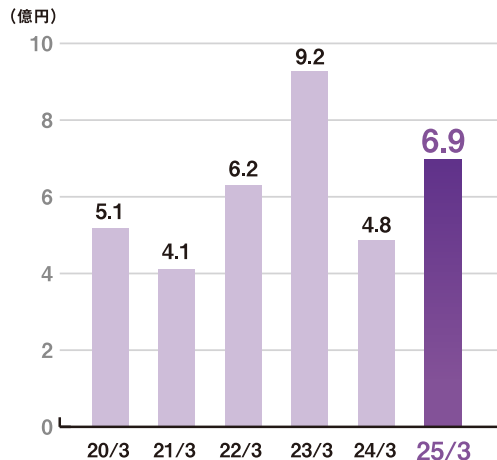
財務指標と非財務関連活動の連動性

※柳モデルの提唱する非財務資本（投資効果の例：人件費投入を1割増やすと5年後の企業価値が13.8%向上、育児/時短制度利用者が1割増で9年後の企業価値が3.3%増）

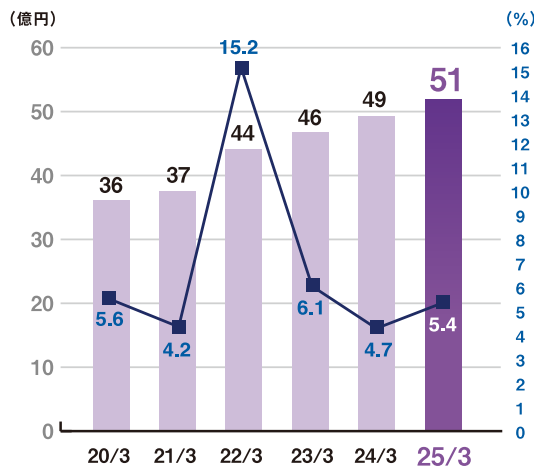
財務指標
（2024年度実績値）



売上高 **132億8千万円**

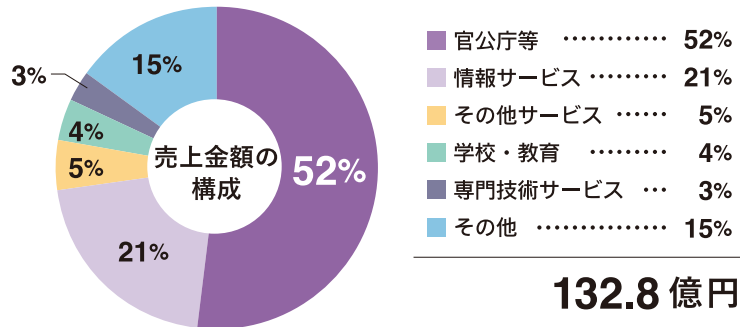


営業利益 **6億9千万円**

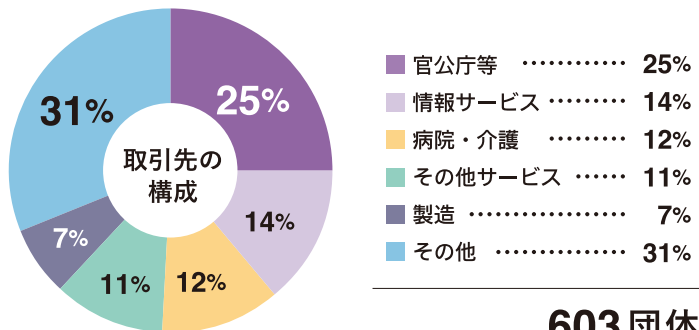


純資産/自己資本当期純利益(ROE)

51億円 / (5.4%)



132.8億円



603団体

関連・相関

人的資本

スキル／経験／モチベーション

知的資本

CI／ブランド／R&D／特許

社会関係資本

信頼／パートナー

内部統制

法令順守／生産性向上

非財務指標関連活動
↓
情報開示・経営判断への活用

人材育成(スキルアップ)

資格取得に向けた取り組み
▶関連情報:P8

高度PM人材	15 ⇒ 16 名
クラウド人材	31 ⇒ 68 名
DX人材	111 ⇒ 141 名
高度クラウド人材	3 ⇒ 5 名

女性活躍
女性社員の管理職

13 ⇒ **16**名



Environment(環境)

CO2排出量マネジメントサービス
carbonote「カーボンノート」

各種環境活動の推進



屋上養蜂
日本蜜蜂と西洋蜜蜂とで
合計20kgを採蜜



CO2排出量の削減
Scope 1 … **12%削減**
Scope 2,3 … **33%削減**



Social(社会)

未来の杜Play Field
2024.4/1 新社屋グランドオープン

JISA、FCA等21の
社外団体へ参加



生成AI等技術講演やセミナー実施

エンゲージメント：満足度アンケート
男性 **76.6%** / 女性 **76.2%**

健康経営 優良法人認定継続
▶関連情報:P8
751～800位 ⇒ **651～700位**



Governance (ガバナンス)

定款の見直し2025.6より施行

ISO認証(6種)
プライバシーマーク
取得



カスハラ対策行動指針 2024.10公開

社内DXワーキンググループ推進

業務プロセスの
デジタル化率 **77%**



複業人材活用プラットフォーム推進

OUTSIDE DIRECTOR MESSAGE

第5章：サステナビリティ経営



株式会社大分銀行
取締役会長(代表取締役)

社外取締役
後藤 富一郎

社外取締役メッセージ

フューチャーデザインを志向した
オーイーシーの成長に期待する

地球温暖化の影響と思われる自然災害が、地球規模で増加している。また、社会・経済面でも分断化による争いが世界的に拡大している。今、私たちに求められているのは、未来のあるべき姿をデザインし創造していくことだ。そのキーワードは、分断ではなくネットワークを強化すること。そして、浪費ではなく循環型社会・経済の構築だと思う。人の移動や物流がより早く、効率的に出来ること。また、交換や分配が効果的に行われることによる地球規模での融合が理想だ。それがまた、効率化を進め循環型社会の実現も可能に思うと思う。

そのためには、次世代型のマシンやエネルギーの創造に加えて、ICTやAIなどの繋がる機能の高度化も不可欠である。オーイーシーは地域にある企業だが、すでに県域を越えて業容を拡大している。更なるFUTURE志向で成長していくことを期待したい。かの豊田佐吉翁は言っている「障子を開けて見よ。外は広い」と。そして、かつて夢であった鉄腕 アトムはもうそこにいる。



地域発展の新たな推進力
「おおいたプラット株式会社」設立

地場企業5社連携で
地域課題解決と新サービス創出へ

この度、当社は株式会社大分銀行、有限会社大分合同新聞社、株式会社大分放送、株式会社トキハと連携し、2025年4月に新会社「おおいたプラット株式会社」を設立する運びとなりました。本件は、2022年12月より上記5社で発足した「チーム大分カンファレンス」において、大分県の持続的な発展と地域課題の解決に向けた協議を重ねてきた成果です。異業種の知見とリソースを結集し、地域の新たな価値を共創するプラットフォームとなることを目指します。

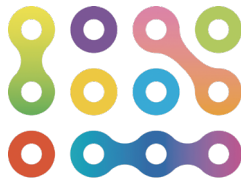
当社は、ITサービス企業として長年培ってきた技術力とノウハウを最大限に活かし、新会社の第2位株主(出資比率31%)として事業の中核を担い、特に、スマホアプリ開発をはじめとするシステム企画・開発・運営を主導し、地域通貨や情報発信プラットフォームといったデジタル基盤の構築を推進します。本事業を通じて大分県の活性化に貢献し、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。

会社概要	
社 名	おおいたプラット株式会社
設 立 時 期	2025年4月
本店所在地	大分市府内町3-4-1 (大分銀行本店内)
資 本 金	1億円
株 主 構 成	株式会社大分銀行 株式会社オーイーシー 有限会社大分合同新聞社 株式会社大分放送 株式会社トキハ

主な事業内容

- スマートフォンアプリ等システムの企画・開発・運営・管理業務
- 地域通貨・地域商品券の運営・管理業務
- 行政等からの受託業務
- 地域資源の活用等によるまちづくり業務
- 地域の新たなビジネス創造の支援業務
- 各種コンサルティング業務
- 広告代理業および各種の宣伝に関する業務
- マーケティングリサーチ並びに経営情報の調査・収集・提供業務
- 情報発信業
- その他地域の発展に寄与する事業
- EC事業

企 業 概 要 COMPANY



Action! Playful!

テクノロジーと人間力で
ウェルビーイングな社会を実現する

商 号	株式会社オーイーシー
代表取締役社長	加藤 健
資 本 金	1億円
社 員 数	580名 (2025年4月1日現在)

株 主：株式会社 アステム／株式会社 トキハ／
株式会社 大分放送／西日本電線株式会社／
大分合同新聞社／三和酒類株式会社／
株式会社 大分銀行／府内産業株式会社／
オーイーシー社員持株会



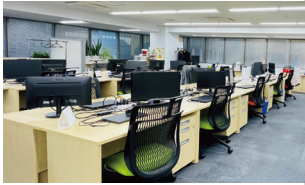
大分本社



東京本社



福岡支社



西日本支社

大分本社 (本店)	〒870-0037 大分県大分市東春日町17番57号ソフトパーク内 TEL 097-537-1212(大代表) / FAX 097-537-2694	香 川 事 業 所 〒760-0018 香川県高松市天神前10-1 高松天神前ビル4F TEL 087-862-3666 / FAX 087-862-3667
		佐 賀 事 業 所 〒840-0831 佐賀県佐賀市松原1丁目4-4 アールビル3F TEL 0952-29-0650 / FAX 0952-29-0652
東京本社	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目9-8 人形町PREX8階 TEL 03-5847-7031 / FAX 03-3668-2671	富 山 事 業 所 〒930-0004 富山県富山市桜橋通り5-13 富山興銀ビル4F TEL 076-444-1051 / FAX 076-444-1052
		世田谷事業所 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂2-12-2 T-one世田谷ビル7F TEL 03-5779-3939 / FAX 03-5779-3960
福岡支社	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-1-1 第7明星ビル5F TEL 092-687-5556 / FAX 092-687-5559	福 井 事 業 所 〒910-0023 福井県福井市順化1丁目21番1号 ニッセイ福井ビル4F TEL 0776-23-3080 / FAX 0776-23-3081
		博 多 ラ ボ 〒812-0036 福岡県福岡市博多区上呉服町10-1 博多三井ビルディング4階 TEL 092-402-3220 / FAX 092-263-1750
西日本支社	〒604-8151 京都府京都市中京区蛸薬師通烏丸西入ル橋弁慶町227 第12長谷ビル7F TEL 075-213-4108 / FAX 075-213-4128	コワーキングスペース ビジカム (Business come true Base) 〒870-0921 大分市萩原1丁目19-39 窓口営業時間(平日) 9:00~17:30 / (定休日) 土・日・祝

未来の杜 Play Field
<https://playfield.info/>

